

14時30分解禁

平成31年4月 全国百貨店売上高概況

令和元年5月21日

I. 概況

1. 売上高総額	4,488億円余
2. 前年同月比	-1.1% (店舗数調整後/3か月ぶりマイナス)
3. 調査対象百貨店	78社 215店 (平成31年3月対比-1店)
4. 総店舗面積	5,409,394㎡ (前年同月比:-2.6%)
5. 総従業員数	66,814人 (前年同月比:-4.9%)
6. 3か月移動平均値 (店舗数調整後)	9-11月 -0.6%、10-12月 0.0%、11-1月 -1.3%、 12-2月 -1.1%、1-3月 -0.9%、2-4月 -0.2%

[参考] 平成30年4月の売上高増減率は0.7% (店舗数調整後)

【特徴】

4月の売上高は1.1%減と3か月ぶりのマイナスとなった。気温が低く不安定な天候の影響で、この時期主力の春物・初夏物の衣料品が低調だった。半面、ラグジュアリーブランドを中心とした高額品やインバウンドは引き続き好調を維持した他、各種催事や花見需要、更には改元祝賀の関連商品等は堅調だったが、前年実績には届かなかった。

顧客別では、国内市場(シェア92.3%)は1.9%減だったものの、インバウンド(シェア7.7%)は9.3%増の344億円と、3か月連続で過去最高額を更新。購買単価も9.2%増と前月より2.5ポイントアップした。

地区別では、10都市が0.1%減とほぼ前年並み。大阪(2.0%増)、名古屋(1.6%増)、福岡(0.8%増)でプラスしたが、7都市でマイナスした。地方(10都市以外の地区)は、近畿地区のみ前年を超え(1.7%増)、全体では3.6%減(24か月連続)となった。

商品別では、国内外顧客共に好調な化粧品(5.3%増)と高級時計等の高額品(美術・宝飾・貴金属:8.8%増)が牽引し、雑貨(3.6%増)トータルで3か月連続のプラス。食料品(1.6%増/2か月連続)は、地方物産展など食品催事が好評だった他、惣菜(2.7%増)等の花見商材や、改元関連・GW手土産で菓子(4.9%増)の需要が高まり前年をクリア。一方、天候与件から衣料品(4.7%減)はコート、ワンピースが好調だったものの春夏物のジャケット、スーツなどが苦戦。身のまわり品(2.2%減)もマイナスした。

【要因】

- (1) 天候：気象庁発表「4月の天候」の特徴は以下のとおり(一部抜粋)

◇東日本では月の前半と終わり頃に寒気の影響を受けたため、月平均気温は低かった。日照時間は北日本でかなり多く、西日本と東日本太平洋側で多かった。降水量は、低気圧の影響を受けにくかったため北日本では少なく、東・西日本では平年並みだった。

- (2) 営業日数増減 29.9日(前年同月比 ±0.0日)

- (3) 土・日・祝日の合計 10日(" ±0日)

- (4) 入店客数増減(回答店舗数で見る傾向値/前年同月比/有効回答数121店舗)

①増加した：40店、②変化なし：43店、③減少した：38店

- (5) 4月歳時記(春物商戦、GW)の売上(同上/有効回答数84店舗)

①増加した：12店、②変化なし：45店、③減少した：27店

全国百貨店 売上高速報 2019年4月

第1表 地区別売上高

※店舗数調整後 ()が調整前

地 区	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率 (%) ※
全 国	448,812,161	100.0	-1.1 (-1.7)
10都市	322,553,238	71.9	-0.1 (-0.5)
札幌	11,817,626	2.6	-1.7
仙台	5,834,002	1.3	-2.1
東京	126,171,884	28.1	-0.8
横浜	27,156,399	6.1	-0.3
名古屋	28,749,782	6.4	1.6 (-2.8)
京都	18,819,051	4.2	-2.8
大阪	68,192,386	15.2	2.0
神戸	10,873,462	2.4	-3.3
広島	8,955,801	2.0	-0.5
福岡	15,982,845	3.6	0.8
10都市以外の地区	126,258,923	28.1	-3.6 (-4.5)
北海道	957,437	0.2	-1.7 (-21.8)
東北	6,181,184	1.4	-3.6
関東	55,292,154	12.3	-5.4
中部	10,234,430	2.3	-3.4
近畿	17,295,680	3.9	1.7
中国	9,321,792	2.1	-4.1
四国	7,109,020	1.6	-2.9
九州	19,867,226	4.4	-3.2 (-7.6)

第2表 商品別売上高

商 品 別	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率 (%) ※
総 額	448,812,161	100.0	-1.1 (-1.7)
紳士服・洋品	30,232,336	6.7	-5.0 (-5.5)
婦人服・洋品	88,697,214	19.8	-4.1 (-4.6)
子供服・洋品	13,635,246	3.0	-5.8 (-6.0)
その他衣料品	8,490,474	1.9	-8.7 (-9.3)
衣 料 品	141,055,270	31.4	-4.7 (-5.2)
身のまわり品	61,402,751	13.7	-2.2 (-2.5)
化粧品	48,487,928	10.8	5.3 (4.9)
美術・宝飾・貴金属	29,780,245	6.6	8.8 (7.8)
その他雑貨	16,157,826	3.6	-8.7 (-9.0)
雑 貨	94,425,999	21.0	3.6 (3.0)
家 具	4,672,891	1.0	0.1 (-0.8)
家 電	981,368	0.2	-0.1 (-0.2)
その他家庭用品	12,479,762	2.8	-7.2 (-8.6)
家 庭 用 品	18,134,021	4.0	-5.0 (-6.3)
生 鮮 食 品	20,670,910	4.6	-1.7 (-2.6)
菓 子	29,365,104	6.5	4.9 (4.5)
惣 菜	26,584,938	5.9	2.7 (2.3)
その他食料品	31,036,869	6.9	0.0 (-0.5)
食 料 品	107,657,821	24.0	1.6 (1.1)
食 堂 喫 茶	11,775,693	2.6	-3.6 (-4.0)
サ ー ビ ス	4,848,424	1.1	-7.7 (-8.2)
そ の 他	9,512,182	2.1	-0.3 (-1.3)
商 品 券	8,848,193	2.0	-9.2 (-9.3)

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。商品券は総額に含まれません。また、商品券の構成比は、総額に対する比率です。本統計には消費税は含まれておりません。

Ⅱ. 地区別の動き

- | | |
|------------------|---------------------------|
| 1. 10都市売上動向 | -0.1% (店舗数調整後/3か月ぶりマイナス) |
| 2. 10都市以外の地区売上動向 | -3.6% (店舗数調整後/24か月連続マイナス) |

【地区別売上前年比の寄与度とトレンド】

地区	売上前年比	寄与度	トレンド
10都市	-0.1	-0.1	3か月ぶりマイナス
札幌	-1.7	-0.0	3か月ぶりマイナス
仙台	-2.1	-0.0	3か月ぶりマイナス
東京	-0.8	-0.2	2か月ぶりマイナス
横浜	-0.3	-0.0	4か月連続マイナス
名古屋	1.6	0.1	3か月連続プラス
京都	-2.8	-0.1	2か月連続マイナス
大阪	2.0	0.3	3か月連続プラス
神戸	-3.3	-0.1	6か月連続マイナス
広島	-0.5	-0.0	6か月連続マイナス
福岡	0.8	0.0	2か月連続プラス
10都市以外の地区	-3.6	-1.0	24か月連続マイナス
北海道	-1.7	-0.0	4か月ぶりマイナス*
東北	-3.6	-0.1	2か月連続マイナス*
関東	-5.4	-0.7	10か月連続マイナス
中部	-3.4	-0.1	10か月連続マイナス
近畿	1.7	0.1	3か月連続プラス
中国	-4.1	-0.1	13か月連続マイナス*
四国	-2.9	-0.0	2か月連続マイナス
九州	-3.2	-0.1	2か月連続マイナス*

(注) 北海道、東北、中国、九州については、2006年1月からそれぞれ札幌、仙台、広島、福岡を10都市に移行した。(2005年までは6大都市)

Ⅲ. 商品別の動き

主要5品目は、雑貨が3か月連続、食料品が2か月連続のプラスとなった。また、家庭用品が40か月連続、衣料品が10か月連続、身のまわり品が3か月ぶりのマイナスとなった。その他の品目は、化粧品が49か月連続、美術・宝飾・貴金属、家具、菓子が3か月連続、惣菜が6か月ぶりのプラスとなった。

【商品別売上前年比の寄与度とトレンド】

商品別	売上前年比	寄与度	トレンド
総額	-1.1	-	3か月ぶりマイナス
紳士服・洋品	-5.0	-0.3	10か月連続マイナス
婦人服・洋品	-4.1	-0.8	2か月連続マイナス
子供服・洋品	-5.8	-0.2	10か月連続マイナス
その他衣料品	-8.7	-0.2	42か月連続マイナス
衣料品	-4.7	-1.5	10か月連続マイナス
身のまわり品	-2.2	-0.3	3か月ぶりマイナス
化粧品	5.3	0.5	49か月連続プラス*
美術・宝飾・貴金属	8.8	0.5	3か月連続プラス*
その他雑貨	-8.7	-0.3	4か月連続マイナス*
雑貨	3.6	0.7	3か月連続プラス
家具	0.1	0.0	3か月連続プラス
家電	-0.1	-0.0	2か月ぶりマイナス
その他家庭用品	-7.2	-0.2	37か月連続マイナス
家庭用品	-5.0	-0.2	40か月連続マイナス
生鮮食品	-1.7	-0.1	6か月連続マイナス*
菓子	4.9	0.3	3か月連続プラス*
惣菜	2.7	0.2	6か月ぶりプラス*
その他食料品	-0.0	-0.0	3か月ぶりマイナス*
食料品	1.6	0.4	2か月連続プラス
食堂喫茶	-3.6	-0.1	24か月連続マイナス
サービス	-7.7	-0.1	2か月連続マイナス
その他	-0.3	-0.0	2か月ぶりマイナス
商品券	-9.2	-0.2	98か月連続マイナス

(注) 化粧品、美術・宝飾・貴金属、その他雑貨、生鮮食品、菓子、惣菜、その他食料品については2006年1月から細分化した。

平成31年4月 東京地区百貨店売上高概況

令和元年5月21日

I. 概況

1. 売上高総額	1, 261億円余
2. 前年同月比	-0.8% (2か月ぶりマイナス)
3. 店頭・非店頭の増減	店頭-0.9% (90.9%) : 非店頭0.0% (9.1%) () 内は店頭・非店頭の構成比
4. 調査対象百貨店	13社 25店 (平成31年3月対比±0店)
5. 総店舗面積	835,205㎡ (前年同月比:-0.7%)
6. 総従業員数	17,367人 (前年同月比:-4.5%)
7. 3か月移動平均値	9-11月 1.0%、10-12月 0.3%、11-1月 -1.2%、 12-2月 -1.5%、1-3月 -1.0%、2-4月 -0.2%

[参考] 平成30年4月の売上高増減率は1.9%

【特徴】

- (1) 4月は、改元祝賀ムードの高まりから、関連企画やファミリーイベント、物産展等各社施策が集客に寄与。入店客数は2.0%増と18か月連続でプラスした。しかし、好天に恵まれた昨年に比べ、今年は低温の影響を大きく受けたことから春夏物商材が苦戦。中旬以降盛り返したものの及ばず、売上(0.8%減)は僅かに前年割れとなった。
- (2) 食料品(3.7%増)は前月より3.3ポイントアップし、2か月連続で前年をクリアした。人気の高い食品催事その他、改元関連企画が盛況で、菓子、惣菜、その他食料品でプラスした。「平成」「令和」の元号の入った弁当やスイーツ、平成最後を記念する様々な集い需要から和洋中惣菜も人気。花見が例年より長く続いたことで関連商材も動いた。また、インバウンドと高額品は引き続き活況で、化粧品や絵画、時計、宝飾が好調推移。雑貨(3.0%増)は3か月連続でプラスした。
- (3) 一方、天候与件により衣料品(5.2%減/6か月連続)と身のまわり品(0.5%減/2か月ぶり)は前年に届かなかった。コートやブルゾン、ワンピース、スカート、ハンドバッグ、スニーカーなどは動いたものの、スーツ、シャツ、ブラウス、パンプス、サンダルの動きは鈍かった。
- (4) GW前半は、改元祝賀に合わせた様々なイベント企画や商材の投入から盛り上がりを見せ好調な滑りだし。福袋や元号を使用した限定商品・記念品は好評で、期間中の売上は堅調であった。
- (5) 5月中間段階の商況は、2.3%減(5/15)で推移している。

【要因】

- (1) 営業日数増減 30.0日 (前年同月比 ±0.0日)
- (2) 入店客数増減 (回答店舗数で見ると傾向値/前年同月比/有効回答数19店舗)
 - ①増加した: 6店、②変化なし: 9店、③減少した: 4店
- (3) 4月歳時記(春物商戦、GW)の売上(同上/有効回答数13店舗)
 - ①増加した: 1店、②変化なし: 6店、③減少した: 6店

東京地区百貨店 売上高速報 2019年4月

	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率(%)
総 額	126,171,884	100.0	-0.8
紳士服・洋品	10,566,575	8.4	-4.3
婦人服・洋品	21,805,051	17.3	-5.4
子供服・洋品	3,147,644	2.5	-1.0
その他衣料品	1,957,048	1.6	-13.6
衣 料 品	37,476,318	29.7	-5.2
身のまわり品	18,884,984	15.0	-0.5
化粧品	14,860,385	11.8	3.7
美術・宝飾・貴金属	9,561,587	7.6	9.3
その他雑貨	5,390,813	4.3	-7.9
雑 貨	29,812,785	23.6	3.0
家 具	1,405,469	1.1	2.4
家 電	676,972	0.5	-0.6
その他家庭用品	3,620,389	2.9	-3.3
家 庭 用 品	5,702,830	4.5	-1.6
生 鮮 食 品	3,836,684	3.0	-2.3
菓 子	7,467,866	5.9	7.9
惣 菜	6,179,206	4.9	4.4
その他食料品	8,616,083	6.8	2.6
食 料 品	26,099,839	20.7	3.7
食 堂 喫 茶	2,723,350	2.2	-8.1
サ ー ビ ス	2,126,296	1.7	-13.6
そ の 他	3,345,482	2.7	-0.4

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。

本統計には消費税は含まれておりません。

		対前年増減(-)率(%)
商 品 券	2,121,359 千円	-4.8
従 業 員 数	17,367 人	-4.5
店 舗 面 積	835,205 m ²	-0.7

営 業 日 数	30.0 日	前 年	30.0 日
---------	--------	-----	--------

Ⅱ. 商品別の動き

主要5品目は、雑貨が3か月連続、食料品が2か月連続のプラスとなった。また、家庭用品が8か月連続、衣料品が6か月連続、身のまわり品が2か月ぶりのマイナスとなった。その他の品目は、化粧品が49か月連続、菓子が8か月連続、美術・宝飾・貴金属が3か月連続、惣菜が2か月連続、家具が2か月ぶり、その他食料品が4か月ぶりのプラスとなった。

【商品別売上前年比の寄与度とトレンド】

商品別	売上前年比	寄与度	トレンド
総額	-0.8	—	2か月ぶりマイナス
紳士服・洋品	-4.3	-0.4	2か月ぶりマイナス
婦人服・洋品	-5.4	-1.0	2か月連続マイナス
子供服・洋品	-1.0	-0.0	7か月連続マイナス
その他衣料品	-13.6	-0.2	2か月連続マイナス
衣料品	-5.2	-1.6	6か月連続マイナス
身のまわり品	-0.5	-0.1	2か月ぶりマイナス
化粧品	3.7	0.4	49か月連続プラス*
美術・宝飾・貴金属	9.3	0.6	3か月連続プラス*
その他雑貨	-7.9	-0.4	3か月連続マイナス*
雑貨	3.0	0.7	3か月連続プラス
家具	2.4	0.0	2か月ぶりプラス
家電	-0.6	-0.0	2か月ぶりマイナス
その他家庭用品	-3.3	-0.1	10か月連続マイナス
家庭用品	-1.6	-0.1	8か月連続マイナス
生鮮食品	-2.3	-0.1	7か月連続マイナス*
菓子	7.9	0.4	8か月連続プラス*
惣菜	4.4	0.2	2か月連続プラス*
その他食料品	2.6	0.2	4か月ぶりプラス*
食料品	3.7	0.7	2か月連続プラス
食堂喫茶	-8.1	-0.2	8か月連続マイナス
サービス	-13.6	-0.3	2か月連続マイナス
その他	-0.4	-0.0	3か月連続マイナス
商品券	-4.8	-0.1	7か月連続マイナス

(注) 化粧品、美術・宝飾・貴金属、その他雑貨、生鮮食品、菓子、惣菜、その他食料品については2006年1月から細分化した。

お問い合わせは、日本百貨店協会 森・橘・長柴 まで
TEL 03-3272-1666 ホームページアドレス <http://www.depart.or.jp>